

平新報

發行所 山野邊庄吉
編輯 山野邊庄吉
印刷 山野邊庄吉
電話 五十二番
代價 五錢
定額 五元

劍聖室先生 謝恩ノ趣意

道ノ爲メ勤メテ老ノ至ルヲ知ラズトハ蓋シ磐城ノ劍聖室直與先生其ノ人ナラン先生年齡正ニ八十七



先生室の近最

才穎傑トシテ尚壯者ヲ凌グノ概アリ而カモ謙遜ニシテ謙讓一言一行荷シテモセズ一歩及テハ即チ退クニ接スレバ自ラ爽快ヲ感ズルモノアリ誠ニ之ノ圓滿

ホヤ云々植物

佐竹智明

ホヤなる植物を始めて見た際、栗の巨木に限り樹上の諸葉を知るや知らずや、凡そイテクたるところコダレたれば容易に發生を見ずとち、其狀恰もあり、しかも始め枯木でなく生木の幹や枝に寄生する植物なり、試みに根を掘り、根を根瘤バクテリアに似たり

勿論ナレドモ或ハ敬神宗祖及敬老ノ精神モナカレバカラズ茲ニ於テ吾人同志相謀リ磐城劍道會ノ大恩入室老先生ニ對シ衷心謝恩ノ意ヲ表シ合セテ米壽ノ高齡ヲ祝福セントス

恩師の面影

木下雁次

五ヶ年間の少年の日の夢作つて生徒の訓育方面を指しては、先生は私に對して、家庭と學校、延いては出で彼校舎に學んだものにと、身小學校との連絡に注意を



西村岸太郎先生

薄青き斑点あるのみにて根有するもの職權又は金力より先は枯死するともホヤ民衆の維持と組織に例ふべき

自身も非常な意氣込みでいうな連中四五人で飯田町のられたかも知れないが、キラキラの事を御許なら先生の私宅をお訪ねした。時節は秋の頃のおぼろげな月影にみちた時時代の先生の

御挨拶

關内正一

今回平町會議員の改選に際し、私領町内有志、先輩各位の切なる御薦めに依りまして不肖をも不顧茲に再度立候補を決定致しました。



關内正一

最近 磐城 中校より 入學校名 五月十日迄判明の分

上級學校入學者 (四) 氏名 矢島 敏行 水津 彦雄

嵐の跡

町議改選

鹿島村々議員改選は去る二日執行されたが、定員十二名の所へ十三名立候補、有権者総数三百九十二、投票有効数三百八十、その結果左の如く

- 一 新赤坂 登
- 二 全波立 忠作
- 三 全鈴木 一雄
- 四 全鈴木 傳
- 五 再佐藤 米治
- 六 全高萩 民雄
- 七 新佐原 良近
- 八 再四家 直雄
- 九 再志賀 直哉
- 一〇 新箱崎 弘之
- 一一 全鶴沼 忠美
- 一二 全江尻 中
- 一三 二次點 佐藤 善太

入遠野村

入遠野村々議員改選は去る八日執行されたが、有権者総数七百七十六うち投票有効数七百六十六、その得票模様左の如く、定員十二名の所へ十四名立候補せりと

- 一 入遠野村々議員改選は
- 二 去る八日執行されたが、有
- 三 権者総数七百七十六うち投
- 四 票有効数七百六十六、その得
- 五 模様左の如く、定員十二名
- 六 の所へ十四名立候補せりと

鷹崎正見氏

洋行に歡送會



鷹崎正見氏が、師範講習會に於て、十四日夜住吉屋本店にて、歡送會を催したが、會長諸橋久太郎氏の送辭、鷹氏の挨拶等あつて頗る意義深きものであつた。出席者、諸橋久太郎、橋本芳太郎、五郎氏に随伴し洋行するに

六七 新小澤 清一
六八 全輝田 政道
六九 再鈴木 福太郎
七〇 新大谷 義次
七一 全鈴木 昌二
七二 全佐川 梧郎
七三 全永山 忠一
七四 全小澤 保太郎
七五 全折笠 源作
七六 全上野 朝衛
七七 全折笠 源作
七八 全折笠 源作
七九 全折笠 源作
八〇 全折笠 源作
八一 全折笠 源作
八二 全折笠 源作
八三 全折笠 源作
八四 全折笠 源作
八五 全折笠 源作
八六 全折笠 源作
八七 全折笠 源作
八八 全折笠 源作
八九 全折笠 源作
九〇 全折笠 源作
九一 全折笠 源作
九二 全折笠 源作
九三 全折笠 源作
九四 全折笠 源作
九五 全折笠 源作
九六 全折笠 源作
九七 全折笠 源作
九八 全折笠 源作
九九 全折笠 源作
一〇〇 全折笠 源作

高久村議

高久村議改選は来る十日であるが、届けずみの候補者左の如く、定員十二名の所へ十二名であるが、十三名超過の様である。

- 一 箱崎 半右衛門 (原)
- 二 箱崎 半右衛門 (原)
- 三 箱崎 半右衛門 (原)
- 四 箱崎 半右衛門 (原)
- 五 箱崎 半右衛門 (原)
- 六 箱崎 半右衛門 (原)
- 七 箱崎 半右衛門 (原)
- 八 箱崎 半右衛門 (原)
- 九 箱崎 半右衛門 (原)
- 一〇 箱崎 半右衛門 (原)
- 一一 箱崎 半右衛門 (原)
- 一二 箱崎 半右衛門 (原)

大和田隆助

大和田隆助、山崎守江、諸橋久太郎、木村守江、に於て歡送會を催したが、會長諸橋久太郎氏の送辭、鷹氏の挨拶等あつて頗る意義深きものであつた。出席者、諸橋久太郎、橋本芳太郎、五郎氏に随伴し洋行するに

- 一 大和田隆助
- 二 山崎守江
- 三 諸橋久太郎
- 四 木村守江
- 五 會長諸橋久太郎
- 六 鷹氏の挨拶等あつて頗る
- 七 意義深きものであつた。
- 八 出席者、諸橋久太郎、
- 九 橋本芳太郎、五郎氏に
- 一〇 随伴し洋行するに

平町議選得点

昭和四年五月三十日執行の平町議選成績左の如く、當時實際の有権者三千七百三十三、棄権百四十六、無効二十七

高橋 龜松	一八四
吉村 安治郎	一五九
井上 茂雄	一四四
萩原 義雄	一四三
關内 正一	一四〇
野崎 滿藏	一三二
吉田 寅之輔	一三〇
千葉 彦治	一二九
根本 品藏	一二〇
石山 治三郎	一一三
馬目 武之助	一一〇
猪狩 庄平	一〇九
武田 元之助	一〇八
國府田 直良	一〇六
柳下 元吉	一〇三
鈴木 光吉	九三
青沼 敏男	九二
大森 勇	九一
佐々木 龍若	八八
馬目 雅治	八八
荒川 淺次郎	八六
齊藤 敏實	八六
荒川 恒次郎	八六
佐藤 岩次郎	八四
花澤 五五	八二
櫻井 富廣	七九
永山 隆藏	七六
坂本 隆藏	七三
緑川 喜三郎	七三
遠藤 林平	七〇
松永 友太郎	六九
加納 木健一郎	六八
佐々木 健一郎	六八
宇佐美 友二	六三
小野 伊佐治	六三

平町會議員

立候補 揆撈

- 鈴木 光吉
- 阿部 治作

選舉事務長

平町會議員

立候補 揆撈

- 櫻井 清

會川延太郎君を

推薦す

- 荒川 恒次郎
- 青木 榮助
- 古田 部春吉
- 永山 勇吉
- 永山 甚平
- 沼田 秀吉
- 永山 義太郎

立候補 揆撈

拜啓初夏新緑の候高貴益々御多謝此事に奉存候扱て此度町會議員選舉に際し過般先輩知友より出馬方に付懇切なる徳誼相受け候へ共小生元より其の器に非らずと思考致居候條は去就に付き遂巡歸隱能は候次第に有之候然るに町内御一同の御推薦も有之徒らに一身一家の倫安をのみ顧念致すべきものにあらず且つ又町政に參與し奉公の至誠を致す事町民當然の奉仕と確信し敢然出馬致す事決心仕り候然れども果して克く御期待に添ひ得るや否や心中私かに忸怩たるもの有之候へ共幸ひ貴下の御同情と御後援に依り當選の榮を披ひ候上は粉骨碎身町政の爲め献身的努力を傾倒致す覚悟に候間是非特別の御同情を賜はらん事を切に奉懇願候

先は不取敢御揆撈切に御願迄如斯に御座候 草々頓首 昭和八年五月

當選 御禮

五月十四日改選

- 遠藤 藤三郎
- 遠藤 倉三郎
- 馬目 仙十郎
- 四家 直雄
- 志賀 重右衛門
- 阿部 源兵衛
- 鈴木 文十郎
- 永山 義太郎
- 鈴木 房次郎
- 鈴木 文十郎

酒井 清

薩力 井 清

五月十四日改選

